

成人看護学

専門分野

授業科目	セルフケア再獲得に向けた看護	講師	氏名	①権田園美	開講年次	単位・時間	
			所属	①専任教員			
			実務経験	①臨床看護師	2年次 前期～後期	1単位 30時間	
科目のねらい	成人期は多様な価値観・生き方や社会的役割を持つ。その成人期の対象が生命の危機状態から脱し、不慮の事故や疾病により何らかの機能障害を負い、援助を必要とするときにその対象を疾病や障害とともに生きる「生活者」として捉え、「その人らしく生きること」を支援するために、社会復帰に向けた看護の重要性を学ぶ。また、本来高いセルフケア能力を持つ成人が再びその人らしく生活するため、セルフマネジメント力を身に付けられる知識・技術を習得し、自己コントロールができるように働きかけていく看護の重要性を理解する。						
到達目標							
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 慢性期・回復期の健康問題をもつ対象と家族の特徴を説明できる。 成人期にある慢性期・回復期の対象や家族に必要な看護問題を立案できる。 成人期にある慢性期・回復期の対象や家族に対する看護援助を科学的根拠をもとに実践できる。 						
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 対象に必要なセルフマネジメントを考えることができる。 セルフケア再獲得方法を対象や家族に提案できる。 対象に関連する社会資源を対象と家族に提案できる。 日常生活で予測される問題の解決方法を対象や家族に提案できる。 対象や家族を取り巻く倫理的問題について述べるができる。 						
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 対象や家族に行う教育方法を、文献検索を行うことができる。 様々な社会資源について、文献検索することができる。 患者や家族に必要な看護援助について、グループワークで積極的に発言することができる。 患者や家族に必要な看護援助を繰り返し練習することができる。 						
科目評価	定期試験（筆記）20% 課題（レポート含）80% 合計100%						
テキスト	ナーシンググラフィカ 成人看護学①成人看護学概論 (メディカ出版) ナーシンググラフィカ 成人看護学②健康危機状況/セルフケアの再獲得 (メディカ出版) ナーシンググラフィカ 成人看護学③セルフマネジメント (メディカ出版) ナーシンググラフィカ 成人看護学⑤リハビリテーション看護 (メディカ出版) ロイ適応看護理論の理解と実践 NANDA-I看護診断 (医学書院)						
参考文献							
回数	教育内容	教育方法			講師 権田園美	関連科目 からだの構造 からだの機能 全ての病を看る 基礎看護学 病理学総論 治療学総論 成人看護学概論 在宅看護総論 家族看護学 地域生活支援 社会保障 病気と共に生きていく人への看護	留意事項 「成人看護学総論」「領域横断」で習得した「健康観」を関連づけて予習する。 予習においては、テキストを熟読、関連動画を視聴し理解できない箇所を明確にする。 演習では看護実践を展開していくため、演習中に追加される看護情報をもとに予習・復習を行うこと。 テキスト・講義資料を用いて学習した内容を復習し、理解を深める。 事前課題①：「アンドロゴジー」 事前課題②：クローン病 事前課題③：乳がん 事前課題④：大腸癌 演習白衣使用
1	1・成人各期から見た情報整理の視点 (GW)	講義	演習	その他			
2	2・成人各期から見た情報整理の視点 (発表)	○		○			
3	3・対象とその家族の生活・価値観を踏まえた看護実践		○				
4	①青年期にクローン病を発症し、再燃・寛解を繰り返す対象と家族への看護実践		○				
5	・再燃期における全身状態の観察 ・寛解期における栄養指導、生活指導		○				
6	3・対象とその家族の生活・価値観を踏まえた看護実践		○				
7	②壮年期に乳がんを発症し化学療法を行いながら母親役割のある対象と家族への看護実践		○				
8	・化学療法を必要とする対象と家族への看護実践 ・乳がん手術後のリハビリテーション		○				
9	3・対象とその家族の生活・価値観を踏まえた看護実践		○				
10	③長期にわたり関節リウマチで療養している向老期の対象と家族への看護実践		○				
11	・日常生活における生活指導 ・加齢による心身の衰退を受け入れながらのセルフケア		○				
12	3・対象とその家族の生活・価値観を踏まえた看護実践		○				
13	④大腸がんで人工肛門を造設した向老期の対象と家族への看護実践		○				
14	・ストーマ管理、指導 ・社会資源の活用、指導		○				
15	事例の看護実践の発表			○			
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。						